

学習課題（小学校3年生）

【音楽】 パソコンなどで、見たりきいたりできる人は、取り組んでみましょう。

<学習内容>



◆リコーダーの「レ」「ド」の運指をおぼえて、『パフ』をえんそうしましょう。（教科書 52～53 ページ）

※参考動画 http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/gakushuukadai_shou3.html

- (1) 教科書 52～53 ページの楽譜を見ながら、『パフ』をきいて、4 拍子を感じ取りましょう。

※右上 QR コードから範奏をきくことができます。

- (2) リコーダー 1 のパート（主なせんりつ）をえんそうしましょう。

※息つき（ブレス）の記号に気を付けてえんそうしましょう。

※えんそうの様子は動画でも確認できます。

- (3) 教科書 52～53 ページで「レ」「ド」の押さえ方をたしかめて、リコーダー 2 のパートをえんそうしましょう。

※「ファ」「ミ」のときに学習した“ひくい音をふくときのポイント（教科書 45 ページ）”を思い出して、音を出してみましょう。

※えんそうの様子は動画でも確認できます。

※範奏がきける人は、範奏に合わせて、リコーダー 1 や 2 のパートをえんそうしましょう。自分がえんそうしているパート以外の音をききながら、音を合わせてえんそうしましょう。

- (4) 教科書 53 ページにあるリズムばんそうをやってみましょう。

※タンブリンのパートをひざ、カスタネットのパートを手で打つなど、工夫をすると 1 人でリズムばんそうができます。

※リコーダーとリズムばんそうを合わせたえんそうの様子は動画でも確認できます。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・主な旋律、副次的な旋律、低音による合奏を楽しむことができる曲です。御家庭では、楽器の種類等に限りがあると思いますので、リコーダーのパートを中心に、範奏に合わせて演奏することで、重なり合う音の響きを感じ取れるようにします。可能であれば、役割を分担して、一緒に演奏してあげてください。
- ・「レ」「ド」の音も加わり、これまでの曲の中で最も使う音域が広がります。音の高さに合わせた息の強さ、息の使い方ができることを目指しますが、状況に合わせて、無理なく取り組んでください。（リコーダーパートは鍵盤ハーモニカでも演奏することができます。音を合わせながら、楽しく演奏することを大切にしてください。）